

# 食流機構

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構  
<http://www.ofsi.or.jp/>

2020

9 月号

No.297

# OFSI

## I N D E X

巻 頭 言	②
ジビエ産地見学商談会のご案内	③
地方卸売市場の都道府県認定状況について	④
第29回 優良経営食料品小売店等表彰事業 農林水産省食料産業局長賞受賞店のご紹介<2>	⑥
農林水産統計情報	⑧

## 巻 頭 言

8月半ばを過ぎても新型コロナウイルスの感染は、全世界でもわが国でもまだまだ拡大の一途をたどっている。様々な識者の意見でも、この新型コロナウイルスはなかなかしぶとくて、たとえワクチンの開発が成功しても、当分の間、人類はこれと共生することになりそうだという。

新型コロナウイルスの感染が始まってから、三密を避ける、不要不急の外出を避けるという社会的要請があり、政府、企業、団体など多くの組織が様々な行事や会合を従来と同じ形式ではできないで、中止や延期あるいは形を変えて行わざるを得ない状況にある。当機構も例年3月と6月に開催している理事会及び評議員会を今年は書面決議によって開催させていただいた。理事及び評議員の皆様のご理解とご協力にこの場を借りて感謝申し上げたい。

最近、様々な組織において、仕事や会合をいわゆるテレワーク（在宅勤務）とかWEB会議やチャット会議で行うところが増えてきた。もちろん職種や業務内容によってそのような形では対応できないものもあるが、それが可能な場合は、政府も推奨していることでもあり、当機構も含め多くの組織が今後この方向に進むことになると思う。

このような新しい仕事や会合の仕方が普及すると様々な分野で変化が生じると思われる。現在新型コロナウイルスの影響でオフィス街の飲食店やコンビニの客数の減少が深刻な問題になっているが、一方でテレワークを推奨し、オフィス面積の縮減をする企業も出ていることから、新型コロナウイルスの感染が収まっても元に戻ることはないだろう。また都市部の交通機関ではコロナの影響で乗客数が減少しているが、今後も乗客数の減少に歯止めがかからないと思われ、鉄道やバスの運行会社の経営は厳しいことになると思われる。

さらに長距離移動の交通手段である新幹線や航空機の利用者が減少するだろうから、これらの事業会社も経営が厳しくなると思われる。これらの事業の経営者はよほど将来の変化を見据えて経営戦略を立てなければ企業の存立が危うくなるかもしれない。

例えば、JR東海のリニア新幹線事業についてはどう考えるであろうか？ 現在大井川の水問題を巡って静岡県と意見が対立し、JR東海が目論んだ2027年開業が危ぶまれている。本来、東京と名古屋・大阪をむすぶ東海道新幹線が飽和状態になっていてそれ以上の乗客を運ぶためには第二新幹線が必要とされ、そのためにより早く輸送するための新技術としてリニア方式をとるということで、国家的プロジェクトとして推進されてきたもので、各方面の期待も大きなものがある。しかし、ポストコロナの時代に乗降客数の見込み数が大きく変化するとしたら、経営者は進むべきか撤退すべきか難しい判断を迫られるのではないかと思う。

JR関係では、過去に青函トンネルの例がある。このトンネル工事は本州と北海道を結ぶ船舶輸送に代わる大動脈として大きな期待を担って始められ、技術的に困難な海底トンネル工事を最先端の技術の力で克服して完成したが、着工から27年かけて完成した時には、航空機など他の交通手段の発達もあり、また、北海道新幹線工事の遅れもあり、乗降客数は予想を下回るものとなり、貨物輸送などで活用しているものの経営的には赤字であるという。

例として交通事業を取り上げたが、ポストコロナの時代をどう生き抜くか、事業経営の責任者の背負う課題は極めて重いものがあると思う。

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構

会長 馬場 久萬男

# ジビエ産地見学商談会のご案内

## 農林水産省 外食・中食等における国産食材活用促進事業

農林水産省補助事業により、ジビエ生産者と外食・中食事業者、お互いの要望を結びつける顔の見えるマッチング－産地見学・商談会－を開催します。

### ■主催

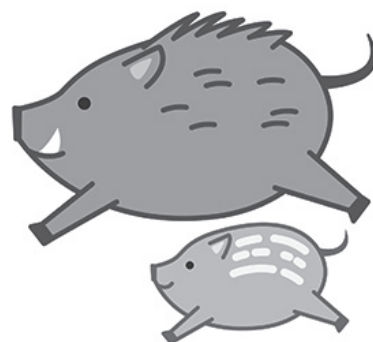
(公財)食品等流通合理化促進機構

### ■対象者

・外食事業者 ・中食事業者(弁当、惣菜事業者等)

### ■募集人数

各コース20名 ※複数名での参加も可能です。



### ■参加コース(予定) …現地主要駅または主要空港にご集合いただきます。

①ジビエ・de・そらち / あぶかの森(北海道浦臼町・恵庭市)

開催日: 令和2年10月29日(木)

開催時間: 10:00 ~ 15:00 ※集合、解散時間ではありません。

紹介ジビエ: エゾシカ・ヒグマ・エゾユキウサギ

②ちづ Deer's(鳥取県智頭町) / 日本猪牧場

開催日: 令和2年11月5日(木)

開催時間: 12:00 ~ 14:00 ※集合、解散時間ではありません。

紹介ジビエ: ニホンジカ・イノシシ

③富士山麓ジビエ / ハケ岳ジビエ(山梨県富士河口湖町・北杜市)

開催日: 令和2年11月26日(木)

開催時間: 10:30 ~ 14:30 ※集合、解散時間ではありません。

紹介ジビエ: ニホンジカ・ツキノワグマ・キジ・ヤマドリ

### ■参加費

無料 ※ただし、上記開催地までの交通費は各自ご負担となります。

### ■紹介ジビエについて

現地では、生産者からの説明(30分程度)・加工場の見学(30分程度)・1箇所当たりジビエの試食(5~6アイテム(200~250g/人))を予定しています。

試食は、素材の味・香り等をご確認いただくため素焼き(塩)で提供する予定です。

異なる味付けをご希望の場合は調味料等をご持参ください。

ジビエをメニューに取り入れたい、差別化商品としてジビエを活用したいとお考えの皆様の参加をお待ちしています。

**集合時間、スケジュール等詳細は、後日食流機構ホームページにてご案内します。**

**※コロナウイルスの感染状況により、中止または延期する場合がございます。**

### <問い合わせ先>

業務部 田中・杉本

TEL 03-5809-2176

E-mail ofsi@ofsi.or.jp

# 地方卸売市場の都道府県認定状況について

令和2年6月21日に改正卸売市場法が施行されたことで、各都道府県では同法第13条第1項の規定に基づく地方卸売市場の認定を順次行いホームページなどで公開しています。

今回は、現在公開されている東北以北の地域の認定状況についてご紹介します。

注) 改正卸売市場法第13条第1項…卸売市場であって第5項各号に掲げる要件に適合しているものは、当該卸売市場の所在地を管轄する都道府県知事の認定を受けて地方卸売市場を称することができる。

都道府県名	地方卸売市場名
<p>岩手県                      &lt;令和2年7月8日現在&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社盛岡生花地方卸売市場</li> <li>・地方卸売市場宮古市魚市場</li> <li>・田老町漁業協同組合地方卸売市場</li> <li>・地方卸売市場大船渡市魚市場</li> <li>・地方卸売市場大船渡青果株式会社</li> <li>・花巻市公設地方卸売市場</li> <li>・地方卸売市場株式会社久慈物産市場</li> <li>・地方卸売市場久慈市宮魚市場</li> <li>・地方卸売市場一印一関青果卸売株式会社</li> <li>・地方卸売市場釜石市魚市場</li> <li>・地方卸売市場株式会社岩手県南青果市場</li> <li>・地方卸売市場メフシ</li> <li>・新おおつち漁協地方卸売市場</li> <li>・船越湾漁協地方卸売市場</li> <li>・山田漁連地方卸売市場</li> <li>・普代村漁業協同組合地方卸売市場</li> <li>・野田村漁協地方卸売市場</li> <li>・地方卸売市場種市魚市場</li> <li>・地方卸売市場洋野町宮八木魚市場</li> </ul>
<p>福島県                      &lt;令和2年7月22日現在&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわき市公設地方卸売市場</li> <li>・福島市公設地方卸売市場</li> <li>・地方卸売市場株式会社原町中央青果市場</li> <li>・会津若松市公設地方卸売市場</li> <li>・相馬総合地方卸売市場</li> <li>・郡山市総合地方卸売市場</li> <li>・白河市公設地方卸売市場</li> <li>・株式会社伏黒青果地方卸売市場</li> <li>・地方卸売市場東印郡山青果株式会社</li> <li>・有限会社勿来中央青果地方卸売市場</li> <li>・福島県漁業協同組合連合会地方卸売市場小名浜魚市場</li> <li>・二本松市公設地方卸売市場</li> </ul>

都道府県名	地方卸売市場名
福島県 <令和2年7月22日現在>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわき市漁業協同組合久之浜地方卸売市場</li> <li>・いわき市漁業協同組合沼之内地方卸売市場</li> <li>・いわき市漁業協同組合勿来地方卸売市場</li> <li>・中之作地方卸売市場</li> <li>・相馬双葉漁業協同組合相馬原釜地方卸売市場</li> <li>・相馬双葉漁業協同組合請戸地方卸売市場</li> </ul>
新潟県 <令和2年8月17日現在>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方卸売市場株式会社新印新潟総合卸売センター胎内分店</li> <li>・地方卸売市場新印青果西部卸売市場</li> <li>・地方卸売市場株式会社新印新潟総合卸売センター</li> <li>・地方卸売市場株式会社新津食品流通センター</li> <li>・地方卸売市場株式会社魚水島芝鮮部</li> <li>・新潟漁業協同組合地方卸売市場岩船港市場</li> <li>・新潟漁業協同組合地方卸売市場山北市場</li> <li>・新潟植物地方卸売市場</li> <li>・地方卸売市場株式会社小合園芸センター</li> <li>・地方卸売市場株式会社魚沼食品流通センター六日町市場</li> <li>・地方卸売市場株式会社魚沼食品流通センター小千谷市場</li> <li>・地方卸売市場十日町生鮮食品株式会社</li> <li>・地方卸売市場長岡青果市場</li> <li>・地方卸売市場株式会社三条中央青果卸売市場</li> <li>・地方卸売市場柏印柏崎青果株式会社</li> <li>・地方卸売市場株式会社小出中央青果卸売市場</li> <li>・地方卸売市場株式会社マルタニ</li> <li>・地方卸売市場株式会社長岡中央魚市場</li> <li>・地方卸売市場株式会社三条魚市場</li> <li>・地方卸売市場株式会社小出魚市場</li> <li>・地方卸売市場長岡中央水産株式会社</li> <li>・地方卸売市場株式会社柏崎魚市場</li> <li>・新潟漁業協同組合地方卸売市場出雲崎市場</li> <li>・寺泊漁業協同組合地方卸売市場</li> <li>・地方卸売市場長岡園芸卸売市場</li> <li>・地方卸売市場新印上越青果株式会社</li> <li>・地方卸売市場株式会社糸魚川青果卸売市場</li> <li>・地方卸売市場株式会社糸魚川青果卸売市場</li> <li>・地方卸売市場株式会社糸一</li> <li>・地方卸売市場上越水産株式会社</li> <li>・地方卸売市場佐渡広域食品流通センター</li> <li>・佐渡水産物地方卸売市場</li> </ul>

第29回 優良経営食料品小売店等表彰事業  
農林水産省食料産業局長賞受賞店のご紹介<2>

株式会社リスの森 北海道網走市（ジェラート店）

網走の牛乳と地元の野菜や果物を使う本格ジェラート



最新の製造技術を学ぶためにイタリアで修行を行った。2019年イタリアヴェネト州ロンガローネで開催された第60回ジェラート見本市MIGで行われたガストロノミックジェラートコンテストにて当店のジェラートマエストロ高田聡のチームが優勝を果たした。

絶対的な美味しさだけでなく、医療にも活用できるジェラートやアスリートに向けたジェラート等、他店では絶対できないレベルのジェラート製造技術を身に付けている。

また当店のジェラートの魅力の1つはその種類の豊富さである。トウモロコシやカボチャやハスカップ等、北海道の特産品も含めて60種類以上のジェラートを製造している。季節限定商品があるため、年間を通じて60種類すべてを提供できるわけではない。その時期に一番おいしい素材を、北海道を中心に日本全国から、一部は海外からも調達して使っている。たくさんの中から、その時に食べたいジェラートを選択するが、一度に食べる量ができる量は限られているため、お客様は何度もお店に足を運ぶことになる。

自然の中に、オープンテラスがある木調の店舗は、ヨーロッパのリゾート地をイメージさせる。北海道の素材を最高の状態でジェラートに加工して提供していることから、ブランド価値が高まり、網走観光の目玉の1つとなっている。

とみかわや  
有限会社東御河屋製菓 愛知県新城市（菓子小売店）

新城市エリアでは種類・数量ともに一番豊富で安心の和菓子店



昭和5年先代が興した小さなせんべい屋がとみかわやの原点。現在の経営者である二代目が時代の大きな変化に対応し、地域の皆様に愛される菓子店を目指し、品揃えと接客を充実させ3支店を展開する他、地域の商業施設や食品スーパーでも当店の菓子を取扱うまでに至っている。豊島本店の裏にお菓子の製造工場がある。

当店のお菓子はとにかく種類が豊富。中でも栗が丸ごと入った「本宮の森」は代表的なお饅頭となっている。お正月の花びら餅、端午の節句ではかしわ餅やチマキ、お彼岸にはおはぎなども並ぶ。更に地域のお客様に喜んでもらえるお店にしたいと洋菓子の製造販売も始めた。「てまきかすてら」

のような当店オリジナル新製品も開発しており、時代に合わせたお菓子を地域に提供している。このような商品づくりを支えているのが、創業88年の菓子づくり技術とこだわりである。

それぞれの店舗には長年勤務しているベテラン販売員が複数名在籍しており、さりげなくお客様に合わせた商品提案やお客様が目を留めている商品の情報提供等を行い、販売に繋げている。経験の浅い販売員もベテランの対応を現場で学ぶことで実践に繋げる。

各店舗では、お盆フェア・敬老の日・大創業祭等、季節に応じたイベントを開催し、杉山店と牛川店では店内にギャラリースペースを設けており、予約制で地域住民の作品発表の場に提供している。現在は予約待ちの状態であり来店客の確保に確実に貢献している。杉山店にはピアノも設置されており、地域で活躍する音楽ユニットのコンサート開催され、各店舗が周辺住民の交流場所となっていることが分かる。接客だけでなく来店客を楽しませる取り組みがなされている。

新城市の地域資源を活かす取組として、「新城市をもっと知ってもらおう」という愛知大学地域政策学部の学生たちの思いを乗せて、中日本高速道路株式会社及び中日本エクシス株式会社と産学連携による共同商品開発を行っている。

## お菓子の家 えいらく 大分県玖珠郡玖珠町（菓子小売店）

### 地元の特産品を使い、保存料を使わない身体に優しい菓子作り



厳選素材を求めてパティシエシェフえいらくが行き着いたのが「しげみファームのノンホモ生乳」。玖珠の山間部に位置し、自然も豊かで空気も良く、きれいな地下水も豊富で、乳牛を育てている。酪農家の重見氏とえいらくシェフと一緒に開発したのが、身体に優しいノンホモプリン「くすプリン」である。また、玖珠町産の米を特殊粉碎して出来た高品質の米粉と薄力粉を混ぜて作ったえいらくオリジナルブレンドの粉使って焼き上げたスポンジケーキを、しげみファームの生乳から作った自家製練乳クリームを中心に包み込んだのが「くすモーモーロール」。しっとりとした食感が特徴。更に、いちご果汁を加えた「くすモーモーロールいちご」も開発している。「くすモーモーロール」はそれだけのパンフレットを作成しており、当店のコンセプトを代表する洋菓子になっている。

「くすモーモーロール」はそれだけのパンフレットを作成しており、当店のコンセプトを代表する洋菓子になっている。

当店で使用している商品パッケージやパンフレットそしてホームページ等のイラストは、玖珠町で活躍するお絵描き人「satoko」さんに依頼している。ほのぼのとした表現が当店のコンセプトによく合致していて、地元玖珠町に対する当店のこだわりがデザインにも現れている。当店ではこのイラストを使って、印刷データは自店で作成しており、コストダウンを図りながら、定期的に町内及び近隣に旬の商品を掲載するチラシを配布している。チラシには一押しのお菓子クッキーのクーポン券を付けており、来店客の増加を実現している。

掲載内容は「令和元年度優良経営食料品等表彰事業 受賞店の概要」より一部抜粋したものです。全文はホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

# 農林水産統計情報

## 令和2年4月～令和3年3月までの公表予定より

([https://www.maff.go.jp/j/tokei/sokuhou/yotei/attach/pdf/index\\_nenkan\\_r2-5.pdf](https://www.maff.go.jp/j/tokei/sokuhou/yotei/attach/pdf/index_nenkan_r2-5.pdf))

農林水産省（大臣官房統計部及び各局庁等）が公表している農林水産統計について、9月に掲載が予定されている生産・流通に関する資料名を紹介します。

資料名	収録内容	担当課（室）
大臣官房統計部		
・水産加工統計調査（令和元年）	全国の水産加工経営体における品目別生産量	消費統計室
・令和元年漁業経営統計調査	個人経営体の経営体階層別及び養殖種類別の漁労所得、事業所得等。 会社等の経営体階層別の漁業及び事業収支等。	経営・構造統計課
・令和2年産麦類（子実用）の作付面積（全国）	全国・農業地域別・都道府県別・田畑別の作付面積	生産流通消費統計課
・令和2年産水稻の作付面積及びもみ数確定期における作柄概況	全国・農業地域別・都道府県別の作付面積、10a当たり（予想）収量、作況指数	生産流通消費統計課
・野性鳥獣資源利用実態調査（令和元年度）	野性鳥獣の食肉処理を行っている食肉処理施設の概要、処理実績、販売実績等	消費統計室
経営局		
・令和元年産農作物共済統計表	農作物共済に係る事業実績	保険課
・令和元年産畑作物共済統計表	畑作物共済に係る事業実績	保険課

### 編集後記

- ▶ 今月号ではジビエの産地見学商談会についてご案内をしました。現在スケジュールを最終調整中ですので、来月号では改めて確定事項をお知らせいたします。
- ▶ 前述のジビエ事業ばかり、当機構では各事業が動き始めた時期ですが、今年度はコロナウイルス感染予防のため会議や打合せなど

人が集まるのが難しい年になりました。

Web会議の環境も整えるべきとは思っておりますが、当機関誌お届け先の皆様の間ではどのように対応されているのでしょうか。お伺いできる機会があれば参考にしたいと思っております。（A）

編集

**OFSI 食流機構** ◆2020年9月号 / 通巻297号 ◆令和2年9月1日発行

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-5 第1東ビル6F

☎ 03-5809-2175 FAX 03-5809-2183

✉ ofsi@ofsi.or.jp

ホームページ <http://www.ofsi.or.jp/>

☐総務部 ☎ 03-5809-2175

☐業務部 ☎ 03-5809-2176

▼再生紙を使用しています。